

市政の動き

12月定例会報告  
市長総括説明から

11月27日、令和2年第7回市議会定例会が開会しました。

最初に、①新型コロナウイルス対策「[STAY豊岡][PLAY豊岡][BUY豊岡][PLAY豊岡][THEATER豊岡]」の状況②感染症対策認証制度「[CLEAN and SAFE TOYOOKA]」の取得状況③高齢者の施設入所時の検査費用助成制度の創設④新型コロナウイルス感染症の受診体制整備⑤豊岡最終処分場の使用期間延長ーについて報告しました。その後、当面する市政の諸課題ならびに提出議案の主なものを説明しました。その概要についてお知らせします。

安全に安心して暮らせるまち

○山田川流域内水対策事業

奈佐川右岸の山田川流域は、内水氾濫により浸水被害がたびたび発生することから、国土交通省が所管している「福田第一樋門」付近に排水機場

を築造することにしました。財源は充当率100%、交付税措置率70%の「緊急自然災害防止対策事業債」を活用。2022年度末の事業完了を目指します。今議会に必要な債務負担行為に係る補正予算を提出しています。

持続可能な「力」を高めるまち

○豊岡演劇祭2020

豊岡演劇祭は、規模を縮小するなどして感染症対策に重点を置きながら実施しました。結果として、感染者の報告はなく、トークイベントやナイトマーケットを含め、延べ6547人の方に来場いただきました。アンケート結果によれば、来場者の居住地は、市内が30%、本市を除く県内が19%、県外が51%。市外からの来場者のうち73%の方が宿泊しました。試算では、観光消費額4483万6千円、経済波及効果額7532万4千円となり、演劇ツーリズムの可能性がはつきりと見えてきました。今後さらに、トヨタ・モビリティ基金やKDDI等と実施したオンデマンド交通などの実証実験の結果を検証し、未

来のまちづくりへとつなげます。

○外国人観光客の動向

第3四半期(7~9月)の外国人の延べ宿泊者数は268人で、前年同期比97・6%(1万1083人)の減となっています。現時点では、積極的な誘客を図る事業は停止し、情報発信に取り組んでいます。今年度上半期の海外メディアでの記事掲載件数は247件、前年同期比85・7%(114件)の増となりました。この取組みは、今後必ず成果を生み出すものと考えています。

○国内からの観光客の動向

今年度上半期の本市の宿泊者数は24万3009人で、前年同期比52・9%(27万2584人)の減となっています。

城崎温泉外湯では入浴者数が52・8%(34万1134人)の減、出石地域市営駐車場の利用台数は22%(5万2097台)の減です。

ただ、6月以降、城崎温泉外湯については回復傾向にあります。新型コロナウイルス感染症の感染リスクをゼロにすることはできないことを受け入れた上で、まち全体の感染

予防力を可能な限り高め、社会・経済活動の再起動を促進したいと考えています。

○有害鳥獣対策

今年度10月末までのシカの有害捕獲数は4042頭で、前年同期比724頭の増となっています。狩猟での実績と合わせた年間目標6500頭を7年連続で達成できるものと考えています。また、サルによる農作物被害防止のための防護柵設置等への補助金は、現時点で、豊岡・城崎地域で計12件の実績があり、好評を得ています。引き続き、補助金の利用促進を図ります。

○但馬空港の利用状況

新型コロナウイルス感染拡大により、3月以降の利用者数は大きく減少しています。4月1日から11月24日までの利用者数は前年同期比60・3%減の1万1052人。利用率は前年同期比38・2ポイント減の31%となっています。

仮に今年度の利用率が50%を下回ると、運航事業者に収益を保証することになるため、本市では、現有予算を活用し、12月から来年2月までの搭乗者に対し、現行の助成金額に

搭乗1件当たり1500円を上乗せし、また、11月から2022年3月までの間には、搭乗回数に応じて豊岡市の特産品を進呈するポイント制度を実施して利用促進を図っています。

未来を拓く人を育むまち

○子育て支援総合拠点等整備

現在、施設のコンプレックス、整備方針、管理運営の考え方等を盛り込んだ「子育て支援総合拠点等整備構想」を策定中です。構想の策定に当たっては、子育てサークルなどの関係団体にヒアリングを実施。12月中には施設のコンプレックスや配置する機能、規模等をまとめた中間報告を行い、来年3月には策定を完了したいと考えています。

生涯学習サロンについては、整備工事に向けて、調査と設計監理を進めています。来年1月に整備工事に着手し3月末に竣工、4月中のオープンを予定しています。但馬高齢者生きがい創造学院では、来年度の受講生の募集を来年1月から開始すると伺っています。なお、アイティ4階フロアの取得については、11月16

※掲載している情報は編集時点(12月16日)のもので、変更になっている場合がありますので、注意してください。

日付けで不動産売買仮契約を締結。今議会に、土地及び建物の取得に係る議案を提出しています。なお、不動産の引渡しは、生涯学習サロン部分を12月28日に、子育て支援総合拠点部分を来年6月30日に行う予定です。

### ○幼児教育・保育及び

#### 放課後児童のあり方計画

計画案の市民説明会を8月24日から9月11日までの間に、6地域9会場で開催し、延べ306人の方に参加いただきました。子どもの減少が続く地域においては、統合に前向きなご意見をいただいた一方、統合に不安を感じる意見もあり、今後とも市民の皆さまへの丁寧な説明が必要であると改めて認識したところです。

その後、要望のあった地区で再度の説明会を行った他、11月13日から27日までの間でパブリックコメントを実施しました。今後、いただいたご意見を参考に計画案を見直し、来年2月には策定を完了したいと考えています。

### ○小中学校の適正規模・

#### 適正配置の検討

保護者向けと住民向けに分

け地域別意見交換会を9月23日から10月29日の間に計12回開催し、延べ479人の方に参加いただきました。学校再編の必要性は、一定のご理解をいただけたものと考えていますが、再編以外の手段を求めるご意見もいただきました。

今後、適正規模・適正配置審議会で十分に検討され、来年2月に答申がなされる予定です。なお、個別に調整を進めている「五荘小学校と奈佐小学校の統合」及び「港東小学校と港西小学校の統合」に関しては、必要な条例改正案を、今議会に提出しています。また、中竹野小学校と竹野小学校については、2022年4月を目標に統合する方針を決定しました。今後、準備委員会を設置し、協議を進めていくこととしています。

### ○専門職大学の進捗

10月23日、文部科学大臣から大学の設置が認可されました。大学の正式名称は「芸術文化観光専門職大学」です。この認可を受け、12月12日に学校推薦型選抜試験、12月20日に総合型選抜試験、来年2月7日から一般選抜試験が行われます。なお、学舎は来年2月26日、学生寮は1月29日に竣工する予定です。

### ■人生を楽しむ お互いを支え合うまち

#### お互いを支え合うまち

延期後の日程が確定したことを受け、市民を挙げて再度盛り上げるべく、ポート代表チームの事前合宿等の準備を進めています。必要な債務負担行為を含む補正予算を今議会に提出しています。

### ○東京2020オリンピック・

#### パラリンピック

新型コロナウイルス感染症対策については、国の「新型コロナウイルス感染症対策」の結果に従い、ドイツやスイスのポート代表チームが心置きなく大会に集中できるように対応します。感染症対策に必要な予算は、3月定例議会に提出する予定です。

### ○地域コミュニケーション

地域と行政等の間に立つて支援する地域サポーターを1人増員して2人体制としました。10月1日、任意団体「ちいきのて」を発足。地域に近い立場で細やかな支援を実施しています。県の地域再生ア

### ○中間支援組織

戦略の策定に向け、これまでに「豊岡市ジェンダーギャップ解消戦略会議」を2回開催しました。会議では「ジェンダーギャップ解消を「自分ごと」として捉えるため、無意識の偏見に気づく体験や、他者理解、自己理解を深める演劇ワークショップを取り入れるなど、従来の戦略策定手法とは異なる手法をとっています。今後さらに議論を深め、若い世代へのヒアリングやパブリックコメントなどを経て、3月に策定する予定です。

### ○ジェンダーギャップ

#### 解消戦略

公募により決定。市民メンバーについても選定を進めています。今後、ファシリテーターの研修等を行い、来年1月以降、地域デザイン懇談会を開催したいと考えています。

### ○豊岡市土地開発公社の解散

土地価格の上昇を前提に、多くの事業用地の先行取得等を行ってきた土地開発公社。経済環境も大きく変化し、2012年度以降は土地の先行取得等を行っていないため、10月、公社理事会で解散することを決定しました。土地開発公社の解散に係る議案を、今議会に提出しています。

### ○ふるさと納税の状況

2019年度は、これまでで最高額となる6億8721万円の寄付をいただきました。20年度も、11月25日時点で3億3549万円(前年同期比60%増)で、寄付件数も前年同期比70%増の6155件と好調に推移しています。

※掲載している情報は編集時点(12月16日)のものです。変更になっている場合がありますので、注意してください。